

出前講座

分野： 人体・栄養

テーマ： 「お口」それは人間らしく生きる入り口

職・氏名： 歯科衛生学科 教授 加藤 智樹

◆概要

わたしたちは食べ物を口から取り入れ、消化器系で栄養を吸収し生きています。口から食べることはただ生きるためではなく「人間らしさ」を保つことにつながります。この講座では人間の身体の仕組みと口から食べる大切さについて解説します。

◆内容

わたしたちは生きるために栄養をとらなければなりません。栄養は、口から摂取する食事から消化器系で取り出され、いったん血液内にとりこまれ全身に送られ利用されます。ご存知の通り、入院したりした時に点滴で栄養を直接血管に注入すれば生き続けることはできます。しかし、短期間ならしのげますが長期間となると厳しい状況になってしまうことが皆さんもお分かりですよね。口から食べることは単に生きるためだけでなく、歯や顎で噛み砕き（咀嚼）、味を感じ（味覚）、飲み込む（嚥下）という運動を行うことになり、脳も活性化されます。口の運動や口からの脳の刺激が「人間らしさ」を保つことに重要であることがわかっています。お口の機能を保つことは生活の質（QOL）の向上につながるのです。お口の機能を保つためには、普段からの口腔ケアが大切であります。本講座内では人間の身体の仕組みを簡単に紹介し、「人間らしさ」を保つ口腔ケアについて紹介します。

◆出講可能な時間帯

4月～7月（前期）金曜日（午後）

10月～1月（後期）金曜日（午後）

※なお、この時期・時間帯以外でのご依頼の場合には生涯学習係りまでお問い合わせ下さい。

- （1）専門分野・・・解剖生理学、総合歯科
- （2）主な担当科目・・・病理学、臨床歯科医学
- （3）一言メッセージ・・・歯科医師としての臨床および教育経験からわかりやすくお伝えします。